

ビデオ観測でみた20の流星群—9月ペルセウス座・流星群からおうし座北流星群まで(小関正広)

SonotacoネットとGMNのデータを利用して20の流星群を取り上げる。今回は9月ペルセウス座 $\epsilon$ 流星群(SPE)、オリオン流星群(ORI)、ペルセウス座流星群、はくちょう座 $\kappa$ 流星群を対象とした。SPEは20の流星群の中でも明るい流星の割合が多いのが特徴である。ORIが活発化した2007-09年の極大は悪天候であったが、2010年以降よりも明るい流星が多かった。「おうし座南流星群」は今年のような静穏期では10月13日頃に極大を迎えるが(STA\_SE)、活動年では11月3日頃に極大となり(STA\_SF)、「火球が多い」と表現される目立った存在となる。おうし座北流星群(NTA)は遅れて11月10日が極大である。